

③優先度評価

盛土タイプ等分類及び保全対象との離隔確認及び現地確認における、盛土タイプによるリスク評価及び現地調査によるリスク評価により、安全性把握調査を実施する優先度を評価する。

(1箇所当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
主任技師		人	0.05	
技師(A)		人	0.10	
技師(B)		人	0.10	
技師(C)		人	0.05	

(3) 経過観察 (詳細)

状況の変化や変状の発生等について、現地確認による経過観察を行う。経過観察結果は、一覧表および平面・断面図、記録写真等を示したカルテに整理する。初回の経過観察時に変状や湧水等の着目点を設定し、次の経過観察時に同じ箇所の変化状況を確認できるように整理する。

(1箇所当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
技師(A)		人	0.25	
技師(B)		人	0.25	
技師(C)		人	0.25	

(4) 現地チェックリスト作成

ガイドラインの着眼点をとりまとめた現地チェックリストの作成等を行う。現地調査ではチェックリストを活用し、個別の盛土に関するより詳細な状況を把握する。

(1箇所当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
技師(A)		人	0.01	
技師(B)		人	0.01	
技師(C)		人	0.01	

(5) 報告書作成

主任技術者は業務の主要段階において資料を照査技術者に提出し、照査技術者は照査を行う。業務の目的を踏まえ、業務の各段階で作成された資料を基に業務の方法、過程および結果等について記した報告書を作成する。また、本業務で実施した基礎調査（安全性把握調査の優先度評価、経過観察（詳細））結果について、市町村毎に通知図書を作成する。

(1式当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
主任技師		人	0.50	
技師(A)		人	0.50	
技師(B)		人	1.00	
技師(C)		人	2.00	
技 術 員		人	2.00	

(6) 打合せ協議

①業務着手時

(1回当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
主任技師		人	0.50	
技師(A)		人	0.50	
技師(B)		人	0.50	